

経営比較分析表（令和2年度決算）

北海道美唄市 市立美唄病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	透	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
20,504	10,261	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

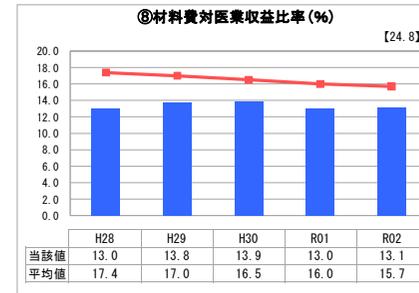
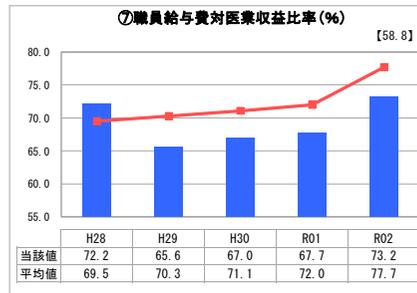
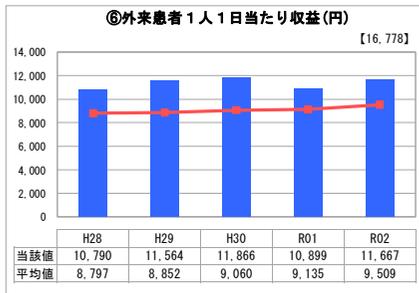
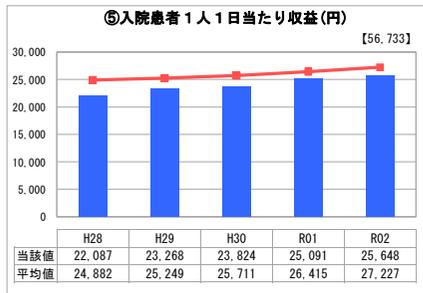
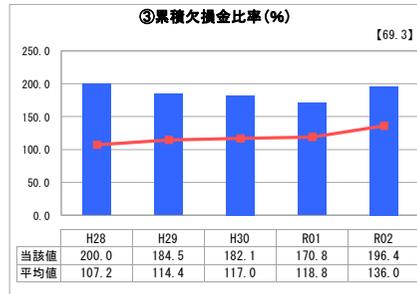
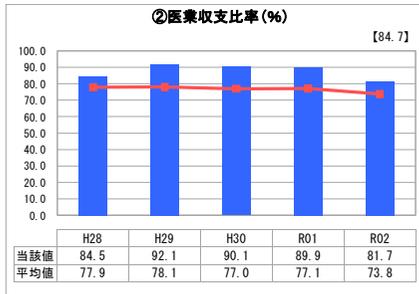
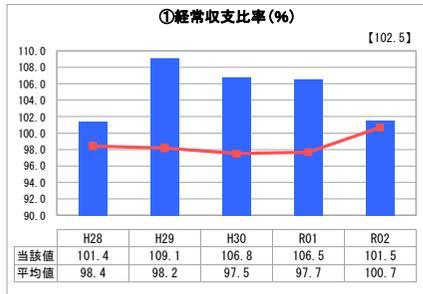
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
53	45	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	98
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
53	45	98

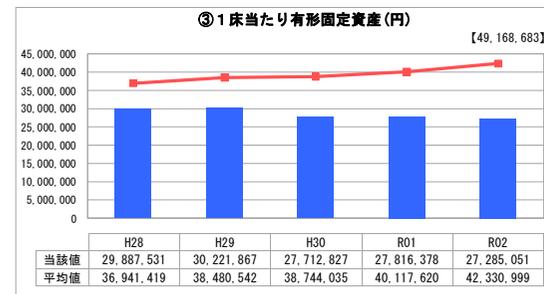
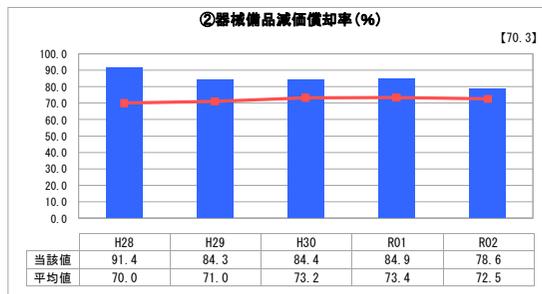
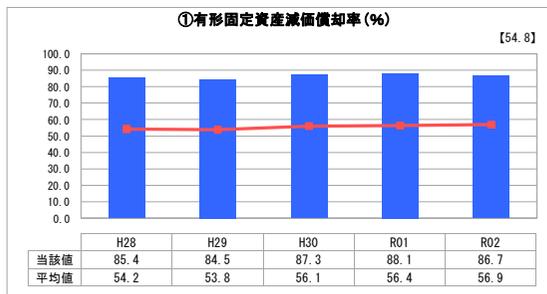
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

救急医療・透析医療・小児医療を担う市内唯一の病院である。

訪問診療や訪問看護の充実を図るほか、保健・福祉・介護分野の専門職や関係機関との連携により、疾病予防や入院支援の強化に努めている。学校医など保健行政活動への協力、福祉施設の協力病院などの地域貢献、研修医・看護学生の実習機関としての役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度については、内科常勤医師の中途退職や、新型コロナウイルス感染症が影響し、救急外来を含む外来、入院患者の減につながり、②医療収支比率⑦職員給与費対医療収益比率にも影響し、とくに④病床利用率は過去に例をみない率の低下がみられた。

一方、コロナ関連補助金等により、経常、純損益ともに黒字となったものの、②医療収支比率に前述の影響があらわれている。

収入増加・確保対策として、新たな施設基準取得に向けた体制や、訪問診療（看護）体制の充実を図り、患者ニーズに応えること、感染対策を行い、安心・安全な医療の提供に努めること②④⑦の改善を図ることとしている。

2. 老朽化の状況について

現院舎は築50年以上（昭和38年～41年建設）経過し、設備関係をはじめ施設全体の老朽化が著しい。

現在、病院建替を予定しており、並行して年度更新計画により医療機器等の整備をすすめていることから、①有形固定資産減価償却率②機械備品減価償却率についても解消される。

全体総括

「I 地域において担っている役割」で述べたように、不採算部門に関わる医療の提供を行っていることから、②医療収支比率の伸びが鈍化している。

地域包括ケア病床の増床（令和2年度に8床から11床に増床）、訪問診療・訪問看護の体制の充実や、新たな施設基準を取得することにより増収に努め、安定した収益が確保できるよう改善に努める。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。